

月刊 メディカル物流通信

発行会社：株式会社フェイバリット
 TEL:042-843-8445 FAX:042-843-8446
 E-mail: info@favorite.co.jp

メディカル物流ニュース

「受動喫煙による健康被害を確実になくすために厚生労働省案を支持し、世界で取り組まれている『建物内禁煙』の実現を願います」。東京大大学院の教授らが発起人として、医師や研究者、アスリートなどからなる有志が、厚生労働省で記者会見を行いました。東京メディカル物流センターでも、喫煙は建物外の喫煙所だけにしています。愛煙家の方々は、どんどん肩身が狭くなっていくでしょうけど、喫煙は健康に多大な悪影響を及ぼして、多くの疾患リスクが高まるので仕方がないでしょうね。でも、今まで私が知っている愛煙家の方で、タバコがおいしいと言っていた人は一人くらいいません。殆どの方が単なる習慣で、目的はストレス解消ではないでしょうか。喫煙者を減らすには、ストレス社会からの脱却が一番の特効薬のように思います。しかし、こちらも難題です。

東京メディカル物流センター物流改善コーナー

製品A 11個の袋詰め作業	対策前	対策後 (机上並べ+同時テープ)
【袋入れ作業】 ①袋を事前に準備 ②袋に製品を詰め出す(手の力を使わずに指でつまむ) ③口を指でつまみながら袋に入れる ④入れ終わったら袋の口を閉じる ⑤袋の口を指でつまみながら袋を閉じる ⑥袋の口を指でつまみながら袋を閉じる	30秒	31秒
【テープ止め作業】 ①袋の口を指でつまみながら袋を閉じる ②袋の口を指でつまみながら袋を閉じる ③袋の口を指でつまみながら袋を閉じる ④袋の口を指でつまみながら袋を閉じる ⑤袋の口を指でつまみながら袋を閉じる ⑥袋の口を指でつまみながら袋を閉じる	66秒	51秒
測定箇所合計	96秒	82秒

これは、ある製品の加工作業の改善事例です。製品Aを11個、1枚の袋に入れて側面等6か所をテープで止める作業です。今までは、11個を袋に入れたものを数十個作って、後でまとめてテープ止めしていました。

工数削減対策として、テープを止める作業までを、一連の動作で行った場合どうなるか検証しています。工程分析とそれぞれの工程の工数を把握した所、1袋あたりの作業時間が96秒⇒76秒に短縮。約18%の削減効果がありました。工程数の削減も図られ、良い改善が出来ました。



こんな問い合わせいただいております。

～問い合わせ内容～

最近、医療機器以外の健康食品・化粧品・医薬部外品に関するお問い合わせが増えてきています。先日お会いしたお客様は、「化粧品関係の商材を扱われているお客さまで、日本で代理店を立上げ本格的に国内販売を推進したい。しかし、今後の取り扱い量が解らないので、手始めにどのくらいのスペースを確保すればよいか悩んでいる。また、流通加工的な加工もお願いしたいが、ノウハウがない。」というお悩みでした。

東京メディカル物流センターからのご提案

弊社の場合、大手物流会社では難しい少量からの取り扱いが可能で、保管量に応じて相当規模のスペース・倉庫をご用意致します。少量からスタートし、取扱量が増えた時点で使用スペースを再計画し、無駄のない倉庫利用をご提案いたします。また、加工ノウハウも豊富なので、様々なケースに対応できます。こんなことできるの？というお声をお待ちしております。

担当者からの一言



佐藤 (さとう)

暖かくなって、物流センター周辺に虫が発生してきます。ブログにも書きましたが虫を建物の中に入れない仕組みはありますが、出来ればやっつけたい。アブラムシとテントウムシの関係の様に、建物周辺の害虫を駆除してくれる天敵の益虫がいてくれると助かるんですけど...

◆ブログ http://fv-tmlc.com/blog_list/